

第37回日釣連グレ釣りトーナメント大会 準優勝 和歌山県釣連盟 池田 翔悟



グレを拾い集めてなんとか2試合目も勝つことが出来ました。



和歌山青波会の池田です。

今年の日釣連は二日間とも宇和島の湾内で開催され、初日のリーグ戦は全て湾内の防波堤にて行われました。

1 試合目は初めて乗る堤防でしたが朝からそれなりに魚の活性も高く遠投でも食ってくる状況でしたので、遠投で釣ると手前の魚より一回り程大きい魚が釣れ、前後半ともずっと沖で食わせる展開でなんとか勝つことが出来ました。



2 試合目は赤灯台で行い、こちらは先ほどの場所とは違い魚の活性が低く、沖では食わずに手前～竿2本ほどの距離でそれも深い棚でぼつぼつと拾うような展開でしたが以前の赤灯台のように40センチ台のグレが釣れることは無く、MAX25センチ程の

3 試合目はハマグリ堤防で行い、2 試合目よりも更に活性が低くなっており木っ端を釣るのにも一苦労しましたがちょっとした状況の変化でそのタイミングでだけ活性が上がり魚も目視できる所まで浮いてきていたのでそのタイミングを逃さずに拾っていくような釣りでしたが場所交代後はアジが回遊してきたのでだいぶペースも悪くなりましたがアジが消える時にだけグレの活性もあがり、前半より良いサイズのグレで入替にも成功し初日のリーグ戦は3 試合全てに勝つことが出来たので2 日目への切符を手にすることが出来ました。



2 日目は湾内の磯を使用するとのことで初戦は初めて上がるタダナミ4番?で試合

を行いました但想像とは打って変わって魚の活性がとても低く、1匹目を釣るまでに20分ほどかかりましたがそこから活性が上がる事無くたまに釣れるといったペースでむき身やダンゴには一切反応はなく、普段通りの生オキアミで釣りを続けると30～33センチの良型を交えて規定枚数を揃えることが出来準々決勝も勝ち上がることが出来ました。



準決勝では勝ち上がってこられた西さんと十割で対戦し、この磯もどこを釣ったら良いのか分からず最初は木っ端ばかりを釣る展開でしたがなんと対戦相手の西さんがポイントを教えてくださいそこからは面白いように30センチほどの良型が釣れ続けて場所交代後もダンゴで入替に成功し、検量の結果決勝戦に駒を進めることが出来ました。



決勝戦は鯛澤さんと立石バエにて行いこの磯は先ほどの十割同様に魚の活性も高いだろうと予想したので一投目からむき身を付けて釣りましたが開始から20分ほど一匹も釣れないのでオキアミに戻して釣るとそこからはぽつぽつ拾えるようになりましたが鯛澤さんが30センチ程の良いグレを釣ってるのを横目で見えていたので数はいらないので良いサイズの魚を引き出したいと思いある程度釣ったタイミングでむき身に戻し、しつこく釣りましたが結局むき身では一匹も拾うことなく釣り時間が終了し、良型を釣られていた鯛澤さんに完敗しました。



この二日間は十割以外のどこのポイントも活性が低く、普段このエリアではむき身やダンゴをメインで使用しますが今回はオキアミメインの釣りで少し気難しい釣りで

したがとても楽しかったです。



またこの悔しさをバネに来年も頑張りたい
と思います。

大会当日は役員の皆様に変にお世話になり
ました。

有難うございました。

【当日の仕掛け】

竿 ダイワトーナメント M-50

リール ダイワインパルト 3000XH LBD

道糸 ダイワマックスガンマⅡ1.35号

プロ山元ウキ 00号

ハリス ダイワクロスリンク 1.75号

ハリ ダイワ サクサスマルチ6号